

平成22年度

全国私立中学高等学校

私学経営研修会

実施案内

主催 財団法人日本私学教育研究所

後援 宮城県 / 仙台市

宮城県私立中学高等学校連合会 / 日本私立中学高等学校連合会

◆(研究のねらい)◆

## 政策転換期を拓く私学経営と教育

《『私学教育』を【特色教育】【生徒募集】【教員育成】【学校経営管理】【高校無償化】の5つの視点から考察する》

昨夏の政権交代に伴い、与党は政権公約の「高校授業料実質無償化」施策を具現化、公立高校生は「授業料無償化」、国・私立高校生には「高等学校等就学支援金」制度創設・財政措置が行われ、4月から私立高等学校に通う生徒に対して年間約12万円（保護者の所得に応じて一定額の加算有）の就学支援金が支給されることとなった。

新制度の受け止め方は千差万別ではあるが、私立高校への進学を望む生徒・保護者にとって自由な学校選択の一助となることが期待される。他方、この措置によって授業料全額無償となった公立に比して、私立は一定額の負担軽減にとどまり、教育費負担の公私間格差という抜本的な問題は解消されてはいない。長引く経済不況の影響下では公立志向の強まりも懸念され、地域差はあっても私学が生徒募集に苦慮されたことは否めない。

高校無償化政策は、学校法人に就学支援金支給に係る煩雑な事務や人員・人件費増等、事務処理・経費面で大きな負担を課した。助成対象の授業料を含む学納金のあり方等、経営・管理上の課題も派生している。

また、次の政策課題として、教員免許更新制見直し、教員養成課程の充実等、資質向上のための教員養成改革の検討が進められている。真に教育現場の声を重視・反映した制度となるようその動向を注視しつつ、時の政権に左右されることのない、受益者と学校現場に資する教育施策の実現が期待されることである。

「人と知恵」を生み育てるための教育施策がもたらした新たな潮流の狭間で、高校教育を希望する生徒・保護者を惹きつけ、共感を得るべく、教育内容・教職員資質の充実向上を図り、健全かつ効率の良い学校経営・管理に努め、「選ばれる学校」となることが、いま私学に求められている。本研修会が、われわれが直面する諸課題と対応策を検証・考察し、参加者が自校の教育活動・学校管理へと活かす成果を得る機会となるよう、上記《5つの視点》を踏まえ、報告、講演、意見・情報交換を行う。

◆(会 期)◆ 平成22年6月3日(木)～4日(金)の2日間

◆(会 場)◆ 仙台ガーデンパレス

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡四丁目1番5号 TEL022-299-6211 FAX022-299-6248

※研修会に関するお問い合わせは、日本私学教育研究所(電話03-3222-1621)にお願いします。

◆(募集人員)◆ 150名

◆(参加資格)◆ 理事長, 校長, 副校長・教頭, 事務長またはこれらに準ずる管理職の方

◆(基調講演)◆ 演 題 「人生の目的：聖書に見る『永遠の命』とは？」

講 師 やまうら はるつく  
山 浦 玄 嗣 (山浦医院 病院長/医学博士)

## 講師プロフィール

山浦玄嗣(やまうらはるつぐ) 医師。ケセン語(岩手県気仙地方のことば)提唱者・研究者・ケセン語訳聖書翻訳者。  
1940年東京市で出生後、岩手県大船渡市で育つ。1966年東北大学医学部卒業。1971年東北大学大学院医学研究科卒業、医学博士。1981年東北大学抗酸菌病研究所放射線医学部門助教授。1986年大船渡市盛町で山浦医院開業。  
【活動】テレビ・ラジオ出演は過去25年で約120回[NHK教育テレビ「こころの時代／ケセン語で読む聖書」(2002年)、他]、講演は約400回を数える。『ケセン語入門』により日本地名学会「風土研究賞」受賞(1987)。詩集『ケセンの詩(うだ)』により「岩手県芸術選奨」受賞(1989)。岩手県地方の言葉の研究と文化の振興により「岩手県教育表彰」受賞(1990)。「サンタ・マリア号」大船渡港招致の功績により「社団法人大船渡青年会議所表彰」(1993)。第8回国民文化祭・全国お国言葉大会・実行委員長(1993)。『ヒタカミ黄金伝説』により「第1回自費出版文化賞・地域文化部門」入賞(1998)。『ケセン語入門』により「岩手日報文化賞」受賞(2000)。大船渡市市政功労者(文化功労者)受賞(2002)。『ケセン語訳新約聖書・四福音書』により教皇ヨハネ・パウロ二世に謁見を賜る(2004)。【主な著書】(医学以外)『ケセン語入門』、『父さんの宝物』、『ケセンの詩(うだ)』、『ヒタカミ黄金伝説』、『ケセン語大辞典』、『ケセン語の世界』、『ケセン語訳新約聖書・四福音書(全4巻)』、『ふるさとのイエス』、『走れ、イエス!』、『人の子、イエス』他。

## ◆ 講演 ◆ 演題 「私学情勢について」

講師 吉田 晋 (日本私立中学高等学校連合会 会長)  
(財団法人日本私学教育研究所 理事長)

☆新政権下の教育政策・私学振興方策と中高連の対応(高校無償化政策、私学助成等の動向と学校経営、生徒募集等への影響・課題、教員養成等)

## ◆ 報告 I ◆ テーマ 「政策転換期の教育制度改革と私学の対応」

報告者 實吉 幹夫 (日本私立中学高等学校連合会 教育制度委員長)

☆高等学校等就学支援金制度と学校法人事務、学校の第三者評価、生徒の学習評価、教員資質向上策等

## ◆ 報告 II ◆ テーマ 「私立学校のシンクタンクを目指して

— 一日私教研の新たな挑戦 —

報告者 中川 武夫 (財団法人日本私学教育研究所 所長)

☆教員免許状更新講習開設者の総括、今後の教員養成・資質向上策と研究研修事業の抜本改革、中教審教育課程部会の審議動向等

## ◆ パネル・ディスカッション ◆ テーマ 「政策転換期を拓く私学経営と教育」

パネリスト 大山 健太郎 (アイリスオーヤマ株式会社 代表取締役社長)

松良 千廣 (常盤木学園高等学校 理事長・校長)

長塚 篤夫 (順天中学高等学校 校長)

コディネーター 鈴木 康之 (水戸女子高等学校 理事長・校長)

☆「特色教育」「生徒募集」「教員育成」「学校経営管理」「高校無償化」の5つの視点を中心に報告・討議

## ◆ 全体会 (意見交換会) ◆ テーマ 「政策転換期を拓く私学経営と教育」

コディネーター 實吉 幹夫 (東京女子学園中学高等学校 理事長・校長)

松良 千廣 (常盤木学園高等学校 理事長・校長)

鈴木 康之 (水戸女子高等学校 理事長・校長)

長塚 篤夫 (順天中学高等学校 校長)

司会 木内 秀樹 (東京成徳大学中学高等学校 校長)

☆研修のねらい、講演・報告等を受けて、参加者が各学校で抱える問題や意見・情報を交換・共有し、揺れ動く教育改革政策下での私学のあり方と未来を考察する。

◆基本日程◆

	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
	9:30		11:30	12:30	13:30	14:30			17:30		
6月3日 (木)	受付	開 会 式	講 演	基 調 講 演	昼 食	報 告 I	パ ネ ル ・ デ ィ ス カ ッ シ ョ ン			教 育 懇 談 会	
6月4日 (金)		報 告 II	全 体 会  (意 見 交 換 会)	総 括							

【会議日程・プログラム】

1日目	6月3日(木) 9:00-19:00	受付、開会式、講演、基調講演、報告 I、パネル・ディスカッション、教育懇談会
2日目	6月4日(金) 9:30-12:00	報告 II、全体会(意見交換会)、総括

◇6月3日(木) 《会場：仙台ガーデンパレス 2階「鳳凰」》

09:00～09:30	30分	参加者受付
09:30～10:00	30分	開 会 式
10:00～11:00	1時間	講 演 ◇演 題 「私学情勢について」 ◇講 師 吉 田 晋 日本私立中学高等学校連合会 会長 財団法人日本私学教育研究所 理事長
11:00～12:30	1時間30分	基調講演 ◇演 題 「人生の目的：聖書に見る『永遠の命』とは？」 ◇講 師 山 浦 玄 嗣 山浦医院病院長・医学博士 (やまうら はるつぐ … ふるさとの言葉「ケセン語」提唱者・研究者、ケセン語訳聖書翻訳者)
12:30～13:30	1時間	昼 食
13:30～14:30	1時間	報 告 I ◇演 題 「政策転換期の教育制度改革と私学の対応」 ◇報告者 實 吉 幹 夫 日本私立中学高等学校連合会 教育制度委員長
14:30～17:00	2時間30分	パネル・ディスカッション ◇テーマ 「政策転換期を拓く私学経営と教育」 ◇パネリスト 大 山 健太郎 アイリスオーヤマ株式会社 代表取締役社長 【論点例】「経営哲学」「産業界の情勢・展望」「人材育成」「教育観」「中高生に求められる資質能力」「私学教育・教員への期待」等 パネリスト 松 良 千 廣 常盤木学園高等学校 理事長・校長 【論点例】「私学経営管理」「教員育成」「高校無償化」等 パネリスト 長 塚 篤 夫 順天中学高等学校 校長 【論点例】「生徒募集対策」「特色教育」「高校無償化」等 ◇コーディネーター 鈴 木 康 之 水戸女子高等学校 理事長・校長
17:30～19:00	1時間30分	教育懇談会

◇6月4日(金) 《会場：仙台ガーデンパレス 2階「鳳凰」》

09:30～10:00	30分	<b>報告Ⅱ</b> ◇演題 「私立学校のシンクタンクを目指して一日私教研の新たな挑戦―」 ◇報告者 中川 武夫 財団法人日本私学教育研究所 所長
10:00～11:30	1時間30分	<b>全体会(意見交換会)</b> ◇テーマ 「政策転換期を拓く私学経営と教育」 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">研修のねらい、講演・報告等を受けて、参加者が各学校で抱える問題や意見・情報を交換・共有し、揺れ動く教育政策下での私学のあり方と未来を考察する。</div> ◇コメンテーター 實 吉 幹 夫 東京女子学園中学高等学校 理事長・校長 松 良 千 廣 常盤木学園高等学校 理事長・校長 鈴 木 康 之 水戸女子高等学校 理事長・校長 長 塚 篤 夫 順天中学高等学校 校長 ◇司 会 木 内 秀 樹 東京成徳大学中学高等学校 校長
11:30～12:00	30分	<b>総 括</b> 實 吉 幹 夫 財団法人日本私学教育研究所 私学経営専門委員長

◆ 講師・指導員（順不同） ◆

山 浦 玄 嗣（山浦医院 病院長／医学博士）  
大 山 健太郎（アイリスオーヤマ株式会社 代表取締役社長）  
吉 田 晋（富士見丘中学高等学校 理事長・校長）  
中 川 武 夫（淑徳巣鴨中学高等学校 校長）

◆ 専門委員・指導員（順不同） ◆

實 吉 幹 夫（東京女子学園中学高等学校 理事長・校長）  
松 良 千 廣（常盤木学園高等学校 理事長・校長）  
鈴 木 康 之（水戸女子高等学校 理事長・校長）  
長 塚 篤 夫（順天中学高等学校 校長）  
木 内 秀 樹（東京成徳大学中学高等学校 校長）  
鈴 木 秀 一（財団法人日本私学教育研究所 事務局長）

参加申込み方法

- 1) 申 込 次ページの「参加申し込みの注意」をよくご覧になったうえでお申し込みください。
- 2) 申 込 先 「財団法人日本私学教育研究所 私学経営研修会担当」宛  
〒102-0083 東京都千代田区麹町3-1-1 麹町311ビル8階  
電話 03(3222)1621 FAX 03(3222)1683  
ホームページ <http://www.shigaku.or.jp/>  
(平成22年5月17日より) 〒102-0073 東京都千代田区九段北4-3-8市ヶ谷UNビル6階  
※電話・FAXは上記と変わりません。
- 3) 申込締切日 平成22年5月21日(金) 必着  
申し込みは先着順に受け付けますので募集人員をこえた場合は、期日前でも締め切らせていただくことがあります。

**参 加 費** 30,000円（1日目昼食・教育懇談会費を含む。※宿泊費別）

**参加確認証** 参加申込書受付後、参加確認証をご本人宛にお送りいたしますので、研修会当日受付にご提示ください。

## 個人情報の取扱について

当研究所では、参加される先生方の個人情報は、厳重に管理・保護の上、その取扱いについては、法令その他の規範を遵守し、細心の注意を払います。参加申込書にご記入いただく個人情報は、参加確認証および研修会参加のために必要な書類の送付、実施要項の名簿の作成、当研究所の研修会開催等の情報の送付、また何らかの理由で研修会に参加される先生方に連絡する必要が生じた場合のみに利用いたします。

## 参加申し込みの注意

1. 参加申込書に必要事項を記載の上、「日本私学教育研究所 私学経営研修会担当」宛にご郵送またはFAXしてください。（申込後、2週間以内に確認証が届かない場合はお電話にてご確認ください。）
2. 参加申込書受付後、「参加確認証」と「参加費等請求書（コンビニ払込用紙）」をお送りいたします。参加費は、必ずこの払込用紙にて、指定されたコンビニエンスストアでお振り込みください。なお、参加費等の領収書は「払込受領証」をもって代えさせていただきますので、大切に保管してください。
3. 研修会への参加申し込み後の変更・取り消しについては、必ず、FAXにて日本私学教育研究所へご連絡ください。（FAX送信後、確認の電話をお願いいたします。）  
不参加の場合、返金の精算は研修会終了後約1カ月かかりますので、あらかじめご承知おきください。なお、参加費振り込み後の場合は、事務手数料として1,000円を差し引いて返金いたしますのでご了承ください。また、5月31日（月）以降に不参加の連絡があった場合、いったん納入された参加費は返金できません。研修会資料等の発送をもって代えさせていただきます。

## 宿泊のご案内

1. 宿泊の申し込みについて  
宿舎として「**ホリデイ・イン仙台**」のご予約を承ります。研修会会場（ホテル仙台ガーデンパレス）から徒歩にて約5分程度となります。宿泊の申し込みは、「宿泊申込書」（参加申込書の下欄）にご記入のうえ、「日本私学教育研究所 私学経営研修会担当」宛にご郵送またはFAXでお申し込みください。  
申込内容確認後、「宿泊予約確認書」（参加確認証の下欄）を送付いたします。  
お申し込みは先着順で受付いたします。部屋数に限りがありますので、申込締切日前に満室となった場合には、期日前でも締め切らせていただくことがあります。  
なお、研修会会場のホテル仙台ガーデンパレスのご予約を承っておりますが、満室となりましたのでご了承ください。  
※個人情報に関しては、当研修会宿泊関連の情報以外の利用は一切いたしません。

ホテル名	部屋タイプ	料金（お一人様）	備 考
ホリデイ・イン仙台	シングル1名1室利用	6,000円	1泊・朝食付、税・サービス料込み

- ①朝食が不要の場合でも特別料金の為、ご返金できませんのでご了承ください。
- ②喫煙希望の方は、その旨ご記入ください。
- ③チェックイン14時、チェックアウト11時

### 2. 宿泊代金のお支払い方法

**宿泊代金は、ホリデイ・イン仙台にて、直接ご精算ください。**

### 3. 宿泊の変更・取り消しについて

必ず、FAXで日本私学教育研究所へご連絡ください。（FAX送信後、確認の電話をお願いいたします。）  
取り消しの時期によっては、キャンセル料金が発生することがあります。

【お申込・お問い合わせ先】

財団法人日本私学教育研究所（私学経営研修会担当）

〒102-0083 東京都千代田区麹町3-1-1 麹町311ビル8階

電話 03(3222)1621 FAX 03(3222)1683

URL <http://www.shigaku.or.jp/>

（平成22年5月17日より）

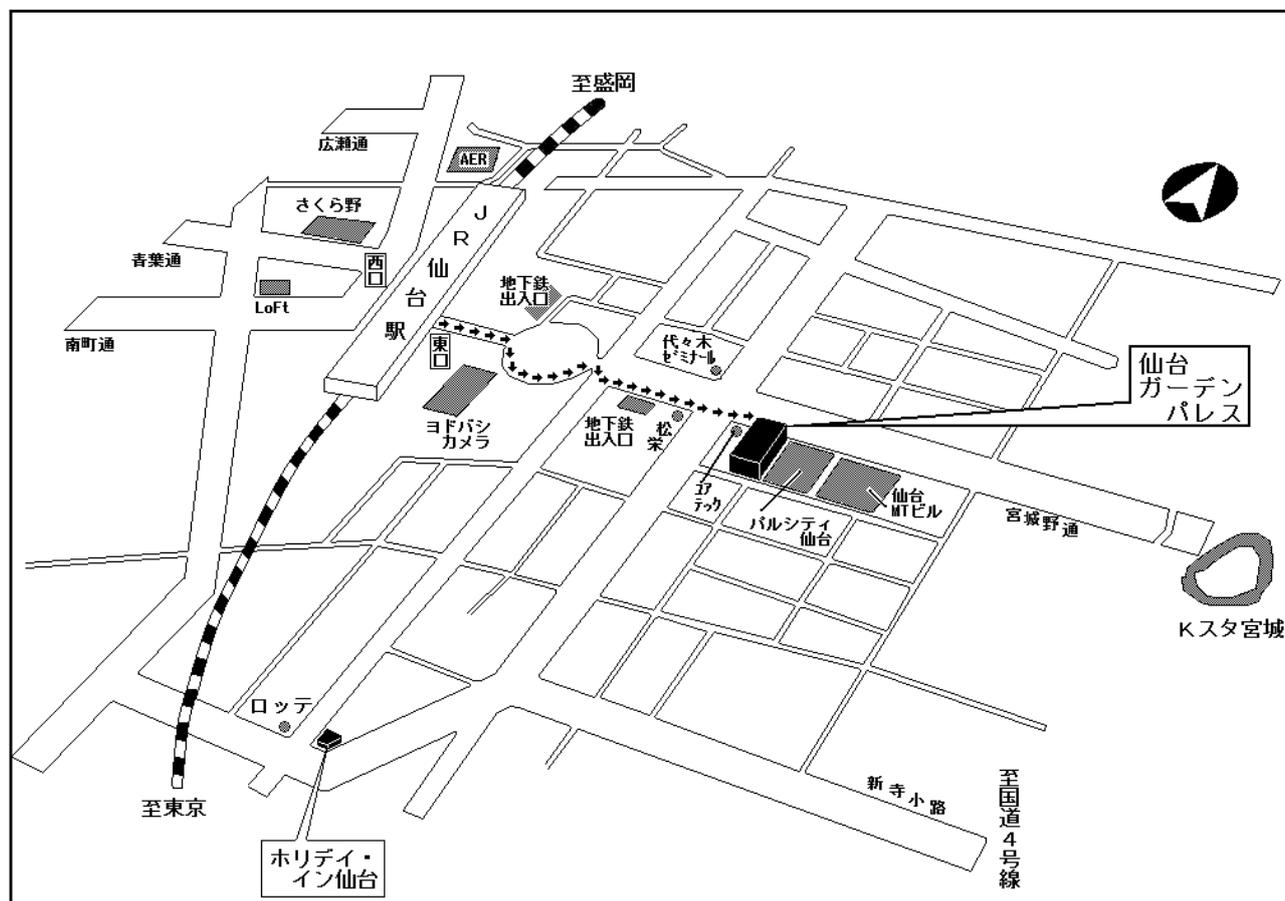
〒102-0073 東京都千代田区九段北4-3-8 市ヶ谷UNビル6階

※電話・FAXは上記と変わりません。

## 会場のご案内

### ☆会場「仙台ガーデンパレス」

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡四丁目1番5号 TEL.022-299-6211 FAX.022-299-6248  
(JR仙台駅東口より徒歩3分)



### 交通機関

新幹線：東京駅から東北新幹線で約1時間40分。  
飛行機：仙台空港より仙台駅まで仙台空港アクセス鉄道で約30分。  
車：東北自動車道仙台宮城I.C.より約20分。

### 駐車場

駐車場入り口はホテル裏側。地下1階・2階が駐車場です。  
高さ2.1Mまでのお車が駐車可能です。  
ご宿泊のお客様は、1泊（翌朝10:00まで）500円です。

#### ホリデイ・イン仙台

住所 〒984-0051 宮城県仙台市若林区新寺1-4-1  
電話 022-256-5111 / FAX 022-256-5211  
交通 ●仙台駅東口から徒歩6分  
駐車場 ●立体駐車場32台（高さ1.5m、幅2.1m、長さ5m）  
●契約駐車場（高さ2.1mまで）  
共に予約不要、1泊1,050円（税込み）です。

**FAX番号 03-3222-1683**

平成22年度 全国私立中学高等学校  
私学経営研修会 参加申込書

平成22年\_\_月\_\_日

① 参加者氏名	(ふりがな) _____		〔 男 〕 〔 女 〕
② 学校名		③ 職名	
④ 学校住所	〒 _____ TEL ( ) _____ FAX ( ) _____		
⑤ 参加確認証送付先 ※上記の参加者ご本人、または学校住所以外への送付を希望する場合にご記入ください。	〒 _____ (受取人氏名 _____)		
⑥ 参加者連絡先*	※緊急の場合、確実に連絡がとれる携帯電話番号・自宅電話番号等をご記入ください。		

⑦ メールアドレス

※今後、当研究所からの研修会のご案内等のメール配信をご希望の方は、メールアドレス（携帯電話のメールは不可）をご記入ください。（過去に当研究所の研修会に参加し、申込書等にご記入いただいた方は、すでに登録されておりますので、記入の必要はございません。アドレス変更の場合はご記入ください。）

⑧ 通信欄（研修会で取りあげたい課題・事例等がございましたら、あわせてご記入ください。）

【宿泊申込書】

《ホリデイ・イン仙台》

「ホリデイ・イン仙台」宿泊希望の場合は、希望日の下欄に○をつけてください。

宿 泊 日	6月2日（水）《前泊》	6月3日（木）	喫煙・禁煙（番号を○で囲んでください。）
			1.喫煙室を希望 2.禁煙室を希望 3.どちらでもよい

※シングルルーム1名1室利用

[ 希 望 欄 ]

※郵送、FAXでお申し込みください。（FAXの場合、送信後、着信の確認電話をお願いします。）  
※複数名の参加の場合は、恐れ入りますが、本参加申込書をコピーしてご記入ください。

受付番号